

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 事故等番号 | 2009那第67号 | |
| 事故等種類 | 衝突 | |
| 発生日時 | 平成21年8月5日 11時00分ごろ | |
| 発生場所 | 沖縄県浦添市那覇港浦添ふ頭4号岸壁付近 (概位 北緯26°15.1' 東経127°41.0') | |
| 事故等調査の経過 | 平成21年8月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 | A 漁船 ^{メンフェン} 明豊 66号（台湾）、748トン 010793、MENG TSAN FISHERY CO. LTD B 貨物船 第16 ^{あさひ} 旭丸、491トン 128794、大阪旭陸運株式会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | A 船長、FISHING VESSEL OFFICER B 船長、二級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | A 右舷船首部に凹損 B 左舷船尾ハンドレール曲損 | |
| 事故等の経過 | A船は、船長Aほか12人が乗り組み、台風避難のため、初めて那覇港に入り、那覇港浦添ふ頭4号岸壁に着岸のため接近中、クラッチが後進に入らず、平成21年8月5日11時00分ごろ、A船の右舷船首と係留中のB船の左舷船尾とが衝突した。 B船は、船長Bほか4人が乗り組み、前示岸壁に右舷着けで係留して荷役作業中、左舷船尾とA船の右舷船首とが衝突した。 | |
| 気象・海象 | 気象：風向 北、風速 約7.9m/s (事故現場の南方約5kmに位置する沖縄気象台における事故当日11時00分の観測値) | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり あり なし A船は、那覇港浦添ふ頭4号岸壁に着岸作業中、主機のクラッチが後進に入らなかったため、行きあしを止めることができずに、B船と衝突した可能性があると考えられる。 主機のクラッチは、前後進切換弁が一時的に固着したため、後進に入らなかった可能性があると考えられるが、明らかにすることはできなかった。 |
| 原因 | 本事故は、A船が那覇港浦添ふ頭4号岸壁に着岸作業中、主機のクラッチが後進に入らなかったため、係留中のB船に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。 | |

